

1 PTAの目的と願い

(1) PTAの目的

PTAは、「子どもの健全な育成を図る」ことを目的とし、保護者と教員とが協力して、学校および家庭における教育に関し、理解を深め、会員相互が学び合い、活動を行う社会教育関係団体です。



(2) 子どもの健やかな成長のために

次代の社会を担う青少年が、たくましく心豊かに成長することは、保護者はもとより、県民すべての願いでもあります。

しかしながら、社会が急激に変化する中、子どもたちは、お互いに切磋琢磨する機会が少なくなり、連帯意識を培う場や生活体験、自然体験の場が不足するなど、家庭や地域における子どもの健やかな成長に新たな課題が生じてきています。

また、「いじめ」「児童虐待」など、子どもたちは、伸び伸びと心豊かに成長するという基本的な権利が著しく侵害されている状況にあります。

こうしたことは、単に子ども自身の問題ではなく、私たち大人が社会の問題として捉え、改めて現状を見つめ直す必要があります。

教育基本法では、第10条に「家庭教育」について、「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。」と規定しています。

「家庭教育は全ての教育の原点」と言われます。社会総がかりで子どもの育ちを支える必要性が高まりつつある今、PTAが果たす役割はますます重要になってきています。保護者同士や、あるいは子どもとのつながりを深め、その中で学び合うことが大切であり、また、家庭・地域・学校を結ぶパイプ役として、積極的に行動することなどが期待されています。

PTA活動の一層の充実と発展のため、この資料をご活用いただければ幸いです。

2 PTAの主な活動

PTAは、学校および家庭教育に関して理解を深め、子どもの生活習慣や環境の改善、充実、会員相互の学習などの活動を行います。その内容により、学習活動・社会活動・広報活動に分けられます。それぞれについて、具体の活動を紹介します。

(1) 学習活動

PTAは「保護者と教員が力を合わせて、子どもたちの健やかな成長を図る」ことを目的としています。そのために、「学ぶPTA」と「活動するPTA」の二つの面から、活動内容を紹介します。

A. 学ぶPTAの内容 (活動例)

- (1) 家庭教育を進めるための学習
 - ◆家庭教育と親のあり方（生活リズムの定着やしつけ、ルールづくり）
 - ◆「語り合いを通した親育ち」の活動
 - ◆子どもの将来の職業と進路
- (2) 学校教育の理解を深めるための活動
 - ◆学校の教育方針、目標の理解
- (3) 現代的な課題についての学習
 - ◆人権教育
 - ◆男女共同参画社会づくり
 - ◆国際理解
 - ◆環境教育
 - ◆情報教育
- (4) 地域理解を深めるための活動
 - ◆地域の歴史と伝統行事
 - ◆地域の社会教育施設や文化財

B. 活動するPTAの内容 (活動例)

- (1) 学校行事等、学校教育活動への参加・協働
 - ◆学習参観、学校説明会への参加
 - ◆学級・学年・地区別PTAの開催
 - ◆学習活動を支援するボランティア活動の推進
- (2) PTA主催行事
 - ◆各種講演会や研修会の開催、ふれあい祭りの開催
 - ◆読書活動推進のための親子の取組
 - ◆スポーツ、サークル活動の推進
- (3) 地域の団体・機関等との連携・協力
 - ◆地域の大人の参加による夏休み中の「ふれあいラジオ体操」の開催
 - ◆通学合宿等、地域における子どもの体験活動への協力
- (4) 「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動に関する取組
 - ◆「ノーテレビデー」「ノーゲームデー」などの取組
 - ◆「朝食レシピ」の募集など、食育に関する取組

(2) 社会活動

地域の教育環境の改善や校外における児童生徒の生活の安全を確保するため、青少年に有害な出版物への対策、遊び場の確保など外部環境への気配り、地域住民同士の豊かな人間関係づくり等、地域の各種団体・機関等と連携した取組を進めていきます。

その具体の活動内容を紹介します。

A. 教育環境整備の活動 (活動例)

- ・ 通学路の整備、遊び場の確保、安全パトロール、声かけ運動の実施
- ・ ゲーム機、パソコン、スマートフォンなどの情報環境への対応（フィルタリングサービスの利用促進）
- ・ 学校の環境美化活動など

B. 環境改善のための活動 (活動例)

- ・ 有害チラシや看板類の排除、有害図書自動販売機撤去運動
- ・ 危険箇所や交通量の調査とその対策など

(3) 広報活動

広報紙の発行やホームページの開設は、PTA行事や会合の内容、学校の様子などを知らせることがその中心となります。広くPTA活動を知ってもらうという点では、大変有効な取組です。広報活動を行う際に配慮すべきことを紹介します。

A. 会員の関心が深い記事を取り上げる

- ・ 魅力ある広報紙を作るには、会員が知りたい、聞きたいことなど、興味をひく話題を選ぶことが大切です。
- ・ また、特集テーマとしては、発行時期に合わせて、PTA総会などの行事や会員の関心が高い生活指導や学習指導上の課題、子どもの暮らしぶりなどが考えられます。

B. 親しみやすく構成を工夫した紙面づくり

- ・ わかりやすい言葉を用いて記事を作ることが大切です。見出しや紙面構成を工夫し、親しみやすい広報紙を作りましょう。